

平成 30 年度 大阪産業大学技術士会講演会

「 CIM に関する動向と建設コンサルタントの取組 /

推進工法で施工する軌道下 BOX の液状化対策 」 について

講演会開催のご案内

大阪産業大学関係者を中心に活躍する技術士集団「大阪産業大学技術士会」では、この度、標記の講演会を開催することになりました。今回は、鉄道構造物設計の分野で活躍されている全日本コンサルタント株式会社の小谷真史氏をお招きし、「鉄道構造物設計」に纏わる様々なお話しを技術的な観点から講演して戴きます。

鉄道分野のご専門外の方にもわかりやすく説明戴きますので、土曜日に大阪梅田界限へお越し下さい。

参加費は無料で、技術士でない方・会員外の方の参加も大歓迎です。参加ご希望の方は、下記の方法にてお申込み下さい。

記

1. 開催日時 : 平成 30 年 8 月 4 日(土) 15:00 ~ 17:00 (受付開始 14:45)
2. 講演会場 : 大阪産業大学 梅田サテライト LECTURE A
大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第 3 ビル 19 階
3. 講師 : 小谷 真史 氏 (全日本コンサルタント在勤)
~【プロフィール】
平成 7 年 : 大阪産業大学工学部土木工学科卒、卒業後 全日本コンサルタント株式会社入社
全日本コンサルタント株式会社 技術部 課長 (至現在)
保有資格 : 技術士 (建設部門 : 鉄道/鋼構造及びコンクリート)
4. 講演題目 : 「 CIM に関する動向と建設コンサルタントの取組 」
「 推進工法で施工する軌道下 BOX の液状化対策 」
5. 講演概要 : 別紙参照
6. 主催 : 大阪産業大学技術士会
7. 参加費 : 無料
8. 定員 : 48 名 (先着順)
9. 申込方法 : 大阪産業大学技術士会 幹事の米田まで、下記事項を記載してメールにてお申込み下さい。
<宛 先>h_yoneda@ijec.co.jp (米田)
<記載事項> 「8/4 大阪産業大学技術士会講演会」と明記し、勤務先、氏名、連絡先(メールと電話番号)を記載下さい。
<お願い> 申込み後 3 日以内に、受領連絡をメール返信します。万一、3 日経過しても受領連絡が届かない場合は、お手数ですが電話にて(080-3795-0025 : 米田)までご連絡下さい。
また、ご質問やご不明点につきましてもメール or 電話でお問い合わせ下さい。
10. 申込締切 : 7 月 31 日(火)まで。

以上

【講演概要】

I部：CIMに関する動向と建設コンサルタントの取組

国土交通省は平成24年度に建築分野で進められていたBIMに倣い、3次元モデルを中心に、建設生産システムの効率化・高度化を図るものとして、CIM（Construction Information Modeling/Management）を提言した。

その後、CIMでの考え方を取り入れ、さらなる建設現場の生産性向上に向けて、測量・設計・施工・管理にいたる全プロセスにおいて、ICT技術等の活用により、建設現場の生産性の向上を目的とした取組みである「i-Construction」を平成28年度より提言した。建設コンサルタント各社においても、CIMを意識した調査・設計業務の取組みに着手している。3次元データを用いた測量・設計についての効果・課題について報告する。

II部：推進工法で施工する軌道下BOXの液状化対策

推進工法で施工する軌道下BOXが、地震時液状化により浮上りの安全率が確保できない場合、突起などの対策を設けることが難しいため、これまでは、対策工法はアンカー工によるなどの方法が一般的であった。

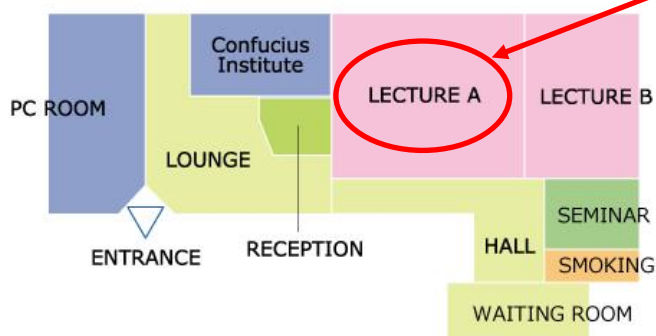
しかし、近年、恒久グラウトが開発され、比較的安価な薬液注入工法により液状化防止対策が出来るようになった。薬液注入工法は、BOX施工形態とは関係なく施工できるため、推進工法にも適用可能であるばかりでなく、既に施工済みの構造物に対しても対策工として採用できる。現時点で軌道下BOXに対する液状化対策として恒久グラウトを用いる場合の設計基準は、明確なものがないが各種基準類を参考にし、軌道下BOXに適用した例を報告する。

【梅田サテライト(案内図)】 JR神戸・京都線「大阪」駅下車、徒歩約5分
JR東西線「北新地」駅下車、徒歩約4分



大阪駅前第3ビル19階
LECTURE A

大阪産業大学梅田サテライトキャンパスフロアガイド



エントランス



レセプション



ラウンジ
(約144平方メートル)
・テーブル個数: 4個 ・椅子個数: 20脚
・50インチ液晶テレビ ・DVDプレイヤー